

第 9 表 都道府県別、面積、民有地等

a) 一部境界未定のため総務庁統計局において推定。
 b) 水面境界不明のため、十和田湖 (59.77km²) を除く。
 c) 水面境界不明のため、中海 (97.71km²) を除く。

都道府県	面積 (各年10月1日)	民 有 地 (各年1月1日)					自然公園 面積 (各年3月末)	都市公園 面積 (各年3月末)	緑地面積 (各年3月末)
		総 数	うち 宅 地	うち 田	うち 畑	うち 山 林			
昭和 56 年	377 727.57	161 037	11 949	30 200	25 755	75 630	42 507	...	
57	377 748.43	161 761	12 189	30 114	25 911	76 283	45 130	...	
58	377 765.27	161 507	12 384	30 017	25 879	76 135	47 222	...	
59	377 780.55	161 176	12 565	29 933	25 885	75 891	50 081	3 738	
昭和 60 年	377 801.14	161 901	12 764	29 903	25 933	76 620	52 474	4 159	
北海道	83 519.22	28 433	801	2 618	7 821	11 280	896 929	5 930	237
青森県	a) 9 617.23	3 970	222	924	761	1 471	115 707	728	75
岩手県	b) 15 278.69	7 399	224	981	814	4 259	71 977	514	23
宮城県	7 291.65	3 365	293	1 157	372	1 421	185 974	1 309	59
秋田県	a) b) 11 612.39	3 891	190	1 342	280	1 312	123 165	738	3
山形県	9 326.60	3 506	188	1 052	389	1 519	156 505	638	107
福島県	13 783.75	6 057	305	1 178	913	3 125	170 316	910	8
茨城県	6 094.43	4 184	490	990	1 166	1 285	88 189	890	137
栃木県	6 413.79	3 315	307	1 011	464	1 298	132 696	929	38
群馬県	6 355.61	2 548	297	335	729	943	90 350	1 446	15
埼玉県	3 799.32	2 347	517	511	654	530	120 393	1 941	467
千葉県	5 150.14	3 583	537	953	731	1 056	28 106	1 871	315
東京都	2 162.34	1 079	516	14	141	332	73 598	3 195	365
神奈川県	2 402.07	1 328	498	84	256	351	54 680	1 788	66
新潟県	a) 12 578.62	4 954	350	1 735	428	2 176	328 388	259	30
富山県	4 252.32	1 418	179	693	72	406	119 841	818	9
石川県	4 197.39	1 635	144	469	144	798	49 421	824	85
福井県	4 191.49	1 632	118	446	62	949	61 388	639	30
山梨県	a) 4 463.48	1 321	118	149	312	647	128 311	908	90
長野県	a) 13 584.62	4 775	318	776	830	2 198	278 684	780	3
岐阜県	10 595.75	4 667	263	560	238	3 356	187 757	1 126	32
静岡県	a) 7 773.12	4 278	434	391	661	2 434	98 303	2 586	183
愛知県	5 137.59	2 757	644	667	489	775	89 527	635	79
三重県	5 777.57	2 897	247	595	259	1 677	206 902	708	142
滋賀県	4 016.00	1 700	162	595	72	790	146 288	346	8
京都府	4 612.90	1 593	176	317	109	922	7 795	784	69
大阪府	1 867.86	894	443	175	55	169	11 708	3 053	279
兵庫県	8 377.98	4 153	443	839	145	2 523	160 005	2 786	243
奈良県	3 692.15	1 460	114	240	83	970	63 327	986	69
和歌山県	4 724.62	2 480	110	224	201	1 909	42 771	347	79
鳥取県	c) 3 492.70	1 386	82	294	162	686	45 313	285	30
島根県	c) 6 628.42	3 258	103	457	185	2 399	40 502	515	1
岡山県	7 089.91	3 681	265	752	300	2 215	71 232	955	118
広島県	8 466.37	4 036	272	608	294	2 712	34 396	1 321	58
山口県	6 106.05	3 256	216	591	192	2 110	40 555	871	114
徳島県	4 145.22	1 832	96	256	197	1 253	38 850	237	9
香川県	1 882.11	1 184	134	331	149	536	16 088	461	82
愛媛県	5 671.72	3 121	177	350	473	2 062	41 195	880	8
高知県	7 107.13	3 334	77	292	172	2 731	47 792	234	8
福岡県	4 959.62	2 862	492	848	322	928	88 089	2 130	148
佐賀県	2 433.39	1 457	107	492	232	506	27 951	355	41
長崎県	4 111.55	1 908	150	303	486	788	74 778	756	1
熊本県	a) 7 407.63	2 971	236	780	652	996	155 837	541	32
大分県	6 337.18	2 328	158	507	334	967	174 253	428	118
宮崎県	a) 7 734.77	2 409	173	434	460	1 093	93 309	966	15
鹿児島県	9 165.03	4 163	271	561	1 187	1 667	74 266	783	18
沖縄県	2 254.17	1 099	104	24	487	90	31 782	342	13

第 2 章
 気 象

第 2 章 気 象

概 況

昭和60年は季節の折れ目が正しく、各季節を強調するような天候の特徴が現れた。主な特徴として、①寒冬・暖春・典型的な梅雨、盛夏猛暑・顕著な秋雨・初冬から冬本番を思わせる寒さ、と様々な記録と話題を残した。②上陸した台風は3個(6・13・14号)であったが、近畿地方への直撃はなかった。③集中豪雨等による気象災害は比較的小さかった。

1 月

冬型気圧配置となる日が多く、気温も平年より1.3℃低く、寒い日が多かった。特に、月末は寒気の流入が強く、30日大阪ではこの冬初めての積雪を観測、また31日の“日最低気温”(−)2.7℃は、1月として低温第2位(昭和44年以降)の記録であった。降水量は平年の37%とこの月も少なく、これで前年7月から連続7か月平年を下回り、少雨傾向は続いた。一方、日照時間は平年よりかなり多く、1月の多照第4位(昭和44年以降)の記録となった。

2 月

強い寒波もようやく弱まり、上旬の気温は3月中旬から下旬並みの高い日が続いた。9日には春一番(平均日2月27日)が吹き、春の気配も感じられるようになった。しかし、月の後半は再び強い寒気が流入して、冬型気圧配置の日が多くなり、寒暖の変動が大きかった。また、各月末にはまとまった雨が降ったため、前年7月以降続いていた少雨傾向は8か月ぶりに降水量が平年を上回り、水不足もやっと解消した。

3 月

西日本は、南海上に前線が停滞したため、曇りや雨の日が多く、多雨寡照の月であった。気温も変動が激しかったが、やや高めに経過したため、降雪(平均2.9日)や冬日(最低気温0℃未満)は観測されなかった。

この年の桜(ソメイヨシノ)は、近畿地方では27日に潮岬で開花、その後順調に北上、29日に大阪で平年より3日早く開花した。

4 月

上旬・下旬の天気は周期的に変化したが、中旬は気圧の谷が次々と通り雨の日が多かった。全体として多雨多照の月であった。特に、日照時間は多く、4月として多照第1位(昭和44年以降)の記録であった。気温もやや高めに経過し、下旬にはこの年初めての夏日(最高気温25℃以上)を観測した。

平年より3日早く咲きはじめた桜(ソメイヨシノ)は、その後一時寒の戻りがあったため、満開は平年と同じ4月8日となった。

5 月

月初めは、大きな移動性高気圧におおわれ晴天が続いた。その後、中旬にかけ天気は周期的に変化したが晴れの日が多く初夏らしい天気で、気温も平年より高めに経過した。下旬には、オホーツク海高気圧が強まるとともに南海上には前線が停滞するようになり、気温も平年並みとなった。

6 月

7日に平年より1日早く梅雨入りとなった。月初めは晴れの日があったが、梅雨入り後は雨の日が多くなり、18日から月末までは連日雨が降った。特に、下旬は梅雨前線の活動も活発で、22日から23日、25日及び28日から30日は大雨が降った。月末には南方海上から台風6号が北上、紀伊

半島沖を北東進、7月1日午前3時すぎに静岡県田子ノ浦付近に上陸した。

7 月

15日に平年より2日早く梅雨が明けた。梅雨期間は、38日間で平年より1日短かったが、大阪の梅雨期間の降水量は357mmと平年並みであった。月初め、西日本付近に梅雨前線が停滞し活動が活発であったが、上旬後半になり梅雨前線も次第に北上、月半ばまで日本海側に停滞したが、15日には梅雨前線も弱まり、近畿地方の梅雨は明けた。月後半は太平洋高気圧におおわれ、暑い晴天が続いた。

また、6月18日から7月14日まで、連続27日間降雨(0.0mm以上)があり、降水継続日数第1位(昭和43年以降)を記録した。

8 月

太平洋高気圧におおわれて暑い晴天の日が続いたが、月前半は南方海上の台風などの影響で大気が不安定となり、雷雨や、にわか雨の日があった。19日の最高気温は38.1℃で、高温第3位(昭和44年以降)を記録、また、月平均最高気温も34.6℃で、平年より2.2℃高くなるなど厚さの厳しい月であった。

7月下旬頃から続いた高温と少雨の状態は8月も解消せず、大阪管区气象台は、8月27日高温と少雨に関する情報を発表した。30日、台風第14号が南海上に北上、夜遅く三浦半島に上陸、31日には台風第13号が早朝に枕崎市付近に上陸したが、大阪では雨が降った程度で影響は小さかった。

9 月

月初めは、太平洋高気圧におおわれ強い夏型の気圧配置となり残暑が厳しかった。6日の最高気温は35.5℃で、9月として高温第1位(昭和44年以降)の記録となった。中旬以降は、秋雨前線が西日本付近に停滞、曇りや雨の日が多くなった。特に11日は、日本海を東進した低気圧に伴う寒冷前線の通過で、大阪府北部を中心に雷を伴った強い雨が降り、一部で浸水や落雷による被害が出た。

10 月

上旬は大体晴れたが、5日は東シナ海を北上した台風第20号の影響もあって、一時秋雨前線が活発となった。中旬は低気圧と高気圧が次々と通過して、天気は周期的に変化したが、下旬には移動性高気圧におおわれて晴れの日が多くなった。月半ばまで気温は平年より高い日が多かったが、月後半は気温が下がり秋も次第に深まった。

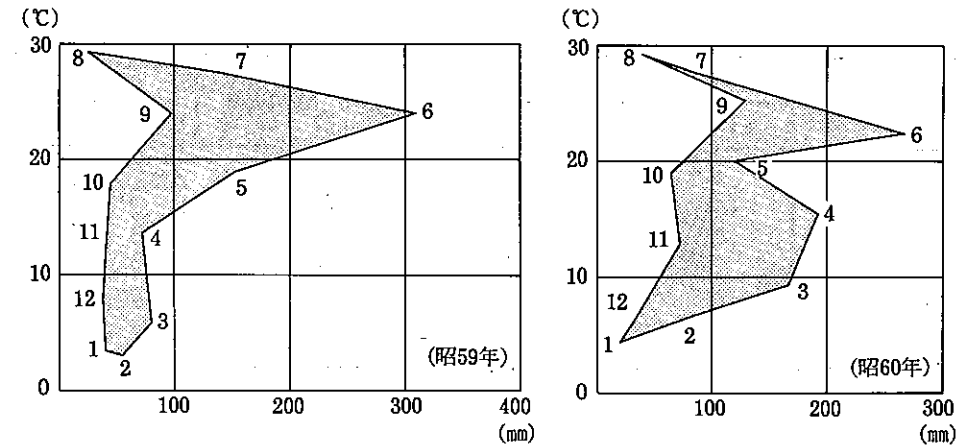
11 月

天気は周期的に変化したが、上空に寒気が入り大気の状態が不安定となり、にわか雨や雷雨の日が多く、特に12日は寒冷前線の通過で、雷雨があり所により雹が降った。また、2日は冬型気圧配置となり季節風が強く、木枯らし第1号を観測、気温も前日より4.7℃低くなった。30日は大阪で初霜を観測、各地から冬の便りが聞かれた。

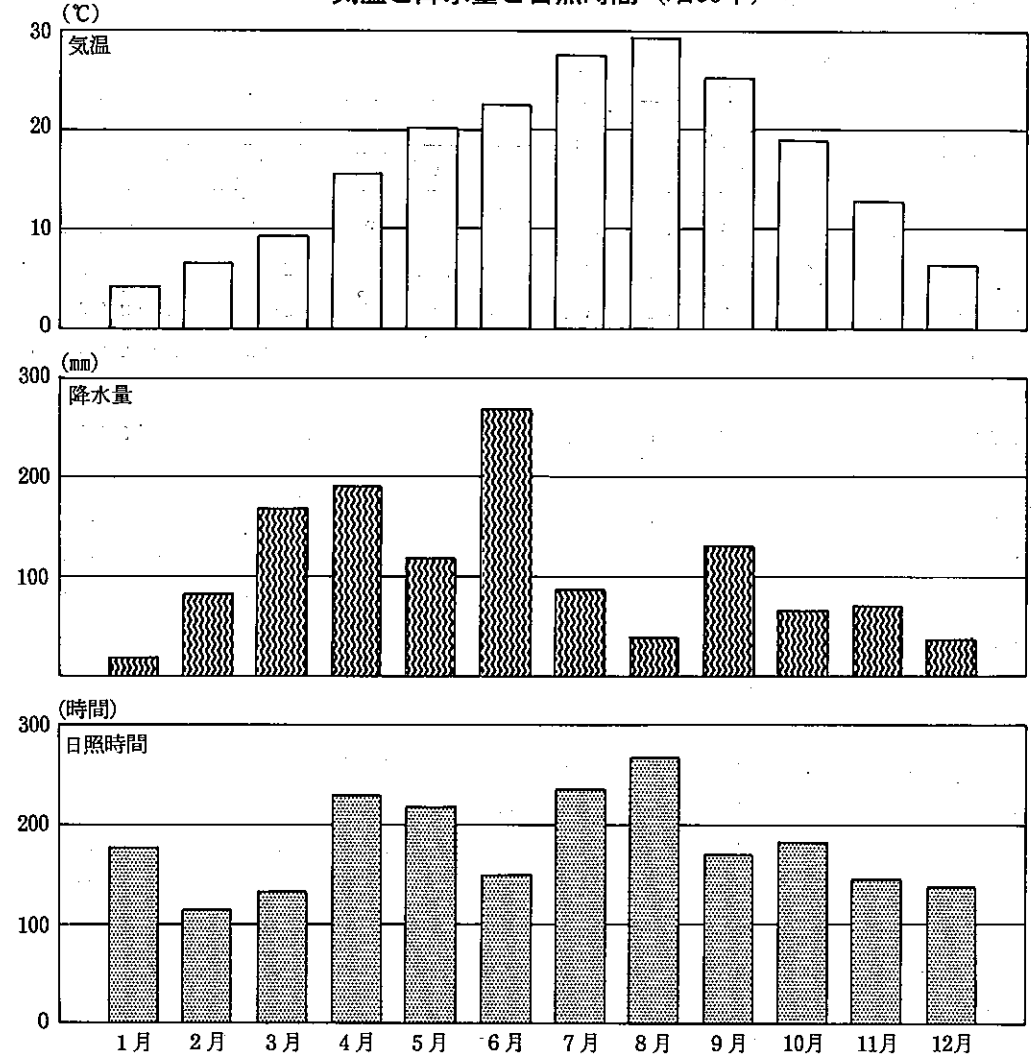
12 月

上旬末から下旬半ばまでは、強い寒気の流入で、冬型気圧配置が続き、初冬から冬本番を思わせる厳しい寒さが続いた。特に、中旬は寒く、旬の平均気温は平年より3.5℃低く、18日は大阪府北部を中心に積雪があり、能勢では9cmの積雪を観測した。大阪での寒候期現象は、1日に初氷を、16日には平年より12日早く初雪をそれぞれ観測した。

気温と降水量の関係



気温と降水量と日照時間 (昭和60年)



第 1 表 大阪管区气象台

1) 「地上気象観測原簿」によるものである。

位 置	経 緯 度		海面上高	創立年月日	主要器材の位置
	東 経	北 緯			
大阪市東区法門坂町6-25	度・分	度・分	m		水銀気圧計(海面上) 49.9 m
					温度計(地面上) 1.5
	135.31	34.41	23.1	明治15. 7. 1	風向風速計(地面上) 53.0
					自記雨量計(地面上) 0.5
					露 場(海面上) 23.1

資料 大阪管区气象台調査課

第 2 表 気 象 概 況

ア) 1日8回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 イ) 1日4回の測定値から、その日の平均値が計算される。
 ウ) 全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準。
 エ) 0時~2時の全風程から求められている。
 オ) 過去における最高、最低及び最大値である。

年 月	平均気圧 (海面)	気 温			イ) 平均湿度 %	ウ) 雲 量	風 速			降 水 量		日照時間 総 数	有感地震
		ア) 平均	最高値	最低値			エ) 平均	最大瞬間	風 向	総 量	最大時量		
昭和56年	1 015.0	15.8	36.8	△5.5	63	6.4	3.0	26.7	W	1 094.0	31.0	2 097.6	2
57	1 015.3	16.1	34.6	△2.7	65	6.2	3.3	25.2	E NE	1 241.5	30.5	2 112.4	2
58	1 015.0	16.5	38.5	△2.5	64	6.2	3.7	30.1	W	1 242.0	26.5	2 263.1	6
59	1 015.3	15.8	36.9	△2.9	65	6.2	3.5	27.4	W SW	1 059.5	37.0	2 270.8	19
昭和60年	1 015.4	16.6	38.1	△2.7	66	6.6	3.5	29.2	W SW	1 276.5	32.5	2 169.4	8
1月	1 021.0	4.3	12.4	△2.7	60	5.7	3.2	22.3	W	19.0	2.5	176.2	2
2	1 015.5	6.6	16.5	△0.1	64	7.3	4.1	22.3	E NE	83.0	10.5	115.7	-
3	1 021.2	9.3	19.3	1.4	64	7.7	3.5	16.5	NNW	167.0	8.0	134.1	1
4	1 014.4	15.5	26.1	4.0	60	5.7	3.6	17.2	NE	191.5	11.5	231.2	-
5	1 013.6	20.1	28.7	12.3	66	7.3	3.2	17.6	W SW	117.5	8.0	219.6	-
6	1 009.5	22.5	30.2	16.2	72	8.2	3.4	21.7	E	269.0	32.5	149.4	-
7	1 008.8	27.6	37.2	20.5	70	6.9	3.5	19.5	NNW	88.0	12.0	235.7	1
8	1 011.4	29.2	38.1	23.1	67	5.3	3.3	14.5	S SW	38.5	12.5	269.9	-
9	1 014.4	25.3	35.5	17.3	73	7.5	3.4	29.2	W SW	130.0	9.5	171.0	-
10	1 018.0	19.0	29.9	10.4	66	6.5	3.1	19.0	S SW	66.0	9.0	182.7	3
11	1 017.5	12.8	23.4	2.3	64	6.1	3.8	18.6	SW	71.5	7.5	145.5	1
12	1 020.2	6.6	16.0	△0.6	64	5.3	3.6	20.2	W	35.5	4.5	138.4	-
平 年	1 015.1	16.2	a)38.5 a)△5.5		67	6.2	3.3	a)60.6	S	1 399.6	a)77.5	2 085.3	...

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 3 表 天 気 の 概 況

区 分	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭 和 60 年												
	総 数	総 数	総 数	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日				日												
降水量≥0.5mm	108	102	87	117	6	8	13	12	11	14	9	7	9	8	13	7
降水量≥1.0mm	94	87	77	104	4	6	13	11	10	13	9	7	8	7	11	5
降水量≥10.0mm	42	34	34	44	-	3	7	7	3	7	3	1	6	3	2	2
降水量≥30.0mm	10	9	10	9	-	1	1	2	1	3	-	-	1	-	-	-
雪 日 数	13	17	42	14	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
雷 日 数	13	13	19	14	-	1	-	1	-	1	3	4	1	1	2	-
霧 日 数	6	4	4	6	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	1	1
煙 霧 日 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風日数(≥10m/S)	23	33	23	31	2	5	-	3	1	5	3	1	1	1	3	6
雲 量 < 1.5	29	18	24	21	2	-	2	6	1	2	3	1	-	-	1	3
雲 量 ≥ 8.5	109	97	111	128	4	11	14	9	14	18	14	5	14	11	9	5
不 照 日 数	52	33	35	39	-	6	5	2	5	6	2	1	4	2	5	1

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 4 表 地域気象観測所の平均気温

観測所	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭 和 60 年												
	平 均	平 均	平 均	平均	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	12.8	13.0	12.3	13.2	0.3	3.1	6.4	12.2	17.1	19.7	24.5	25.8	22.2	15.5	8.9	3.0
枚 方	14.3	14.6	13.9	14.7	2.0	4.6	7.5	13.6	18.5	20.8	26.0	27.7	23.5	17.0	10.8	4.8
豊 中	15.2	15.5	15.6	15.6	2.9	5.5	8.5	14.4	19.2	21.8	26.9	28.5	24.4	17.9	11.4	5.3
生 駒 山	11.6	12.0	10.8	11.7	△0.9	1.5	4.8	11.0	15.5	17.7	22.6	23.9	20.3	14.1	7.9	2.0
堺	15.1	15.3	14.5	15.3	3.0	5.5	8.3	14.0	18.7	21.3	26.5	27.7	24.0	17.4	11.8	5.9
熊 取	14.9	15.1	14.3	15.1	3.2	5.3	8.1	13.8	18.5	20.9	26.2	26.5	23.8	17.6	11.9	5.8

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 5 表 地域気象観測所の降水量

観測所	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭 和 60 年												
	総 量	総 量	総 量	総量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
能 勢	-	1 586	1 175	1 487	9	111	166	188	150	327	187	41	193	38	45	32
箕 面	1 405	1 405	1 090	1 632	16	108	181	200	145	385	176	44	221	48	70	38
枚 方	1 579	1 579	1 120	1 430	18	84	176	178	104	302	144	15	234	65	77	33
豊 中	1 280	1 280	1 071	1 405	18	101	178	211	121	280	134	63	141	53	67	38
生 駒 山	1 606	1 606	1 181	1 568	21	73	197	202	147	362	143	19	173	105	85	41
堺	1 291	1 291	1 021	1 281	18	73	157	170	127	305	83	43	112	80	81	32
河内長野	1 504	1 504	1 151	1 350	23	96	160	159	122	331	127	32	100	79	83	38
熊 取	1 327	1 327	1 001	1 344	17	77	170	186	108	303	66	88	124	99	69	37

資料 大阪管区气象台「大阪府気象年報」

第 6 表 全国気象官署別気象概況 (昭和59年)

ア) 3時、6時、9時、12時、15時、18時、21時、24時の合計8回の観測値を算術平均したものである。
イ) 3時、9時、15時、21時の4回の観測値を算術平均したものである。
ウ) 平均風速2.5未満の日である。
エ) 任意の10分間平均風速の最大値である。

Table with columns for 気象官署 (Weather Office), 気温 (Temperature), 相対湿度 (Relative Humidity), 日照時間 (Sunshine Hours), 降水量 (Precipitation), 快晴日数 (Clear Days), 最大風速 (Maximum Wind Speed), and 最深積雪 (Maximum Snow Depth). Rows list various weather offices across Japan.

第 3 章
人 口